

マザーテツカの

決定版！ 英検二次試験対策

英検二次試験...

考える学習をすすめる会の勉強応援掲示板で、多くの人が**二次試験に不安を抱えている**ことがわかりました。特に**3級受験者は初めての経験**で、不安が多いでしょう。そのような人たちの少しでも力になればと、急いでこの記事を書きました。

さて、皆さんはすでに試験の形式は知っていると思います。ですから、それ以外のことについてここで述べます。

当日、リラックスして試験に臨めるよう、役に立ててくださいね。

1 . まず、みなさんに安心してもらうために...

二次試験は、よほどのことがない限り合格します!

全ての問いかけに沈黙^{ちんもく}してしまったり、全ての問いかけに単語2～3個で答えを済ませる・・・と言ったようなことがない限り。

1級の二次でさえ、合格率は受験者数の50%以上なのです。ちなみに**3級は90%、準2級は70%**とされています。毎回この数値は違うのかもしれませんが、だいたいこんなものです。

大丈夫です!

2 . 試験会場へ行く前に

あたり前ですが、忘れ物がないかチェックをしてください。
特に**受付通知票**と、**二次受験票**は要チェック。

二次受験票のいちばんうしろ「二次試験受験上の注意」のところに「二次試験もマークシートへの記入があります。」と書いてありますが、面接カードへの記入のことです。マークシートの試験を受けるということではないので、安心してください。

面接カードには、名前や受験番号など、マークシートで必要事項を書き入れます。英語ではありませんので、これも安心してください。

3 . 試験の流れ

面接を受ける順序は受験番号順ではなく、**試験会場へ到着順**です。集合時間が決まっていますので、皆同じような時間に集合します。従って、場合によっては1時間以上も待たされることもあります。

係の人に呼ばれるまで、^{ひか}控え室または^{ろうか}廊下で待ちます。試験官に「次の方どうぞ。」と言われたら、**May I come in?** と言い、**Yes, please.** あるいは、**Sure.** と言われたら入室します。

ここからもう試験は始まっています。

この試験は、**英語でコミュニケーションがとれるかどうか**をみますので、あいさつも大切です。入室したら、**Hello.** あるいは **Good morning. Good**

afternoon. とあいさつして下さい。

試験官から先に言われたら、もちろん、あいさつを返してください。

試験官が外国人の場合もあります。

ここからの流れは、二次対策予想問題集に書いてありますので、皆さんはもうすでに把握はあくしていると思いますので、省はぶきます。

4 . 受け答えで注意すること

音読では、内容がわかって読んでいることをアピールするために、**文の意味の区切りごとに息継いきつぎをして読むこと。**

棒読みではなく、**イントネーションに注意すること。**

初めて見る単語は仕方がないので、**自分なりの読み方**で読むこと。

発音は下手でもOK。ただし、**[b]と[v] , [s]と[sh]と[th] はできるだけ区別**をすること。

sick と thick など、区別しないと意味が変わってしまう単語があるからです。

聞き返しは、2回が限度。

聞き返し方はもう大丈夫ですね？

- ・ Pardon?
- ・ I beg your pardon?
- ・ Could you say that again? などです。

言い直しもOK。

答えを間違った・・・と思ったら、

Excuse me. Could (またはMay) I answer the question again? I think I made a mistake. と許可を求めてから言い直します。

No.4 と No.5 の問題で答えるときは、**面接官の目を見て**。

自分のことについてのコミュニケーションです。

相手の目を見て、コミュニケーションをとろうとする意思を見せましょう。

[No.4 と No.5 の答え方]

自分のことについて答えるときには、**正直な答えをマトモに考える必要はありません**。(ウソでもいいから)答えられる文で答えればいいのです。

3 級(No.4)

例) Q : What are your plans for next Sunday?

キミの頭の中

「次の日曜日は従姉妹^{いとこ}の結婚式があるのだけど・・・結婚式で英語でなんていうの??」

わからないからこの答えは捨てます。

ホントはそんな計画はないけど、言える文を言ってしまう。

I'm going to visit my cousin.

準2級

例) Q: Do you like to study new things?

キミの答え **Yes, I do.** か **No, I don't.**

Q: Why? Please tell me more. . . . Yes の場合
Why not? Please explain. . . . No の場合

試験官の2度目の質問はこの3種類ですが、キミが言うべきことは皆同じ。

ただし、Why? と聞かれたときには、Because から始めます。

この答えは、自分の気持ちや考えを説明しなければならないので、キミの頭の中は、長い文が浮かぶと思います。

でも、それを英文にすることが難しいときは、短い文でもOK。とにかく、自分の思っていることを伝えましょう。

また、Yes / No で答える質問では、市販のほとんど問題集では、「Yes. の場合。No. の場合」という書き方をしています。

だから、試験のとき、「**“Yes” だけ，“No” だけで答えればいいんだ**」と思う人もいますが、**Do** you ~? のときは、Yes, I **do.** No, I **don't.** と答え、**Are** you ~? のときには、Yes, I **am.** No, I **am** not. と答える余裕が欲しいです。



5 . 配点

リーディング	:	5 点満点
Q & A	:	各 5 点 (25 点満点)
アティチュード (態度)	:	3 点満点

計 33 点満点 **合格点 19 点**

二次試験は、英語できちんとコミュニケーション出来るかどうかをはかる試験です。だから、積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を見せればOK。

発音が悪かろうが、文法的に間違っていようが、自分の意思を伝えようとし、会話の自然な流れを損なうことをしなければ大丈夫です。

もしキミが、英語で外国の方と話さなければならない状況になったところを想像してみてください。

何とか、自分の意思を伝えようと努力するでしょ？ 何とかコミュニケーションを保とうとするでしょ。

そういうキミの姿勢を示せば合格します。

合格したいと思えば、沈黙せず何かが言えるはず。自分の言葉で、自分の文で堂々と受け答えをしてきてください。

健闘を祈ってます！！！！

